

CDI 中国「大健康」月報

(第2号:2023年8月21日~9月20日)

中国における「大健康」産業とは、医療を中核としつつも、健康食品・サプリメントや健康診断・生活指導から、リハビリ、高齢者向け商品・サービス、スポーツ・レジャーまで、まさに生老病死に関わる全ての領域を対象にした幅広い概念を指す。CDI 中国「大健康」月報では、日本・中国間の「大健康」業界における交流促進に資する情報を、毎月提供していく。読者の皆様の、当該産業の理解を進める一助となれば幸いである。

今月のトップニュース

医療業界の腐敗取り締まりは続くが、一部実行の見直しも

Eshare 医械匯によると、8月30日国家市場管理監督総局は、医療業界協会に関する寄付・学術大会を、きめ細かく管理し、強く取り締めする方針を決定した(下図参照)。



国家市场监督管理总局
State Administration for Market Regulation

请输入要查询的内容



首页

机构

新闻

政务

服务

互动

专题

当前位置: 首页 > 互动 > 征集调查

市场监管总局关于公开征求《行业协会商会收费行为合规指南(征求意见稿)》意见的公告

(業界協会に関するコンプライアンス・ガイドライン 出所: 国家市場管理監督総局)

MRCLUB (<https://wemr.club/>)によると、8月下旬から一部の三級甲等病院は、院内人員とMRの面会する規範を制定した。面会の時間帯・予約届出手続・面会プロセス・記録について規定した。

また、一部の病院では、過去取得した贈収賄を決められた日付までに指定の「返金口座」に返還するなら、処罰を受けないという自首を促すケースも見られている。

9月8日~10日、中国院長フォーラムでは、衛生健康委員会応急司司長郭燕紅氏の発言によると、医療業界の腐敗はあくまで少数の購買や臨床診療科の問題であり、大多数の医療業界の人員の問題ではない;コンプライアンスに合う学術会議は行うべきだと指摘した。今後、腐敗の取り締まりについて一層細かい規則を作る予定である。

つぶやき: 医療業界をよくするために強く打ち出している医療腐敗に対する取り締まりは素早く実行しているとともに、細かいところを少しずつ修正し、更にルール化されている傾向が見られる。医療業界のビジネス環境は、今後も一層健全になることが期待されている。

医薬品

創薬ベンチャーの資金調達が相次ぐ

凱萊英によると、2023年8月の1か月間において、計13社バイオ医薬品企業が資金調達を完成した。主な事業分野は抗体医薬・細胞治療・遺伝子治療・タンパク質分解剤・眼科・ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)・特殊製剤・イオンチャネル関連疾患・低分子医薬品とまとめる。

つぶやき:「第十四回五か年計画」(2021年~2025年の国家戦略)には、1)バイオ医薬品分野に焦点を当て、それに関する国立研究所を設立する。2)バイオテクノロジーと情報技術の融合と革新を促進し、バイオメディカル産業の発展を加速する。3)海洋バイオ医学産業を積極的に拡大することが、バイオ医薬品企業の後押しとなっている。

医療機器

メーカーの資金調達と拠点建設の進行

8月30日、手術ロボットに関するRonovo Surgicalは、2億円のPre B+ラウンド投資を獲得した。

9月11日、蘇州工業園区管理委員会によると、糖尿病に関する医療機器メーカーEmbeta(エムベクタ、2022年からアメリカ系のBD(ベクトンディッキンソン:Becton, Dickinson)社より独立し、ナスダックで上場)の蘇州工場は開業した。同社の上海営業拠点は今年6月で始まった。

中国系・外資系のR&Dセンターは、国産医療機器購入の増値税は全額還付

財政部・商務部・税務総局という3省庁は、中資系・外資系を問わず、国が認められた対象R&Dセンターが国産医療機器(外資系の国産製品も含む)を購入する場合、増値税は全額還付すると発表した(下図参照)。



(3省庁はR&Dセンターの医療機器購入増値税に関する通知 出所:財政部)

ニプロは特許を巡り、中国系企業に対して訴訟を起こした

8月、医療知的財産に関するメディアによると、ニプロは血液浄化医療機器の特許を巡り、同業界の中資系企業成都欧賽医療器械有限公司に対して訴訟を起こした。

2022年10月、国家知的財産局は、成都欧賽医療器械有限公司がニプロの発明特許を無効とする判決を下した。

つぶやき:医療機器の国産化を更に加速させるために、増値税の返還など、具体的な政策が講じられ、このトレンドをますます強く感じている外資系企業は、中国での生産を始めている。

ニプロさんは、ここ2年間で2回も同じ中国メーカーと特許戦争を繰り返し、今後日系医療機器メーカーが特許を申請する際には、通常の申請プロセスだけではなく、無効判決されるリスクも十分に考慮した上でやらないといけない。

健康食品・サプリメント

『健康食品に関する新機能および製品技術評価実施細則(試行)』発行

国家市場管理監督総局によると、8月『健康食品に関する新機能および製品技術評価実施細則(試行)』が発効した。要件を満たせば、元の24種類の既存機能のほかに、健康食品企業による新機能の申請でも許可を取得できる(過去、24種類の既存機能外の機能は当局に認められない)。

『メディカルフード(特医食品)登録実施規範』発行

国家市場管理監督総局によると、8月『メディカルフード(特医食品)登録実施規範』が発効した。許可を取得するための基本要素・要件・対象・取り組み・所要資料・審査手続・受領と審査の时限・許可証書について規定した。審査当局だけでなく、許可を申請する予定の企業・第三者にとって、標準化されたプロセス・ガイドラインと見える。

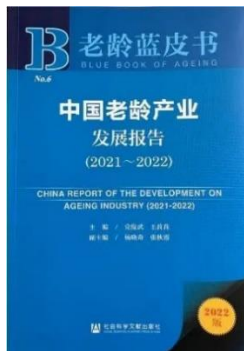
つぶやき:今後、中国健康食品・サプリメント市場における品種が更に豊富になり、商品登録も一層スムーズになることから、市場規模のさらなる拡大が期待できる。

養老産業(シルバー産業や介護)

養老産業発展ブルーブックが発表

養老産業に関する「養老所依」によると、中国老齡科学研究センターは8月29日『養老産業発展ブルーブック(2021~2022年度)』(左図参照)を発行した。急速に進む老齡化に対し、中国国内の養老産業はまだニーズを満たさないという現状がある。現状に対し、以下のアドバイスを提案した:1) 中年・高齡層の所得を向上させること;2) 高齡層およびその家族向けの製品・サービスを提供し、製品・サービスの購買を増やせること;3) 高齡層向けの製品・サービスについて標準・規格の制定を進めること。

(『養老産業発展ブルーブック(2021~2022年度)』 出所:社会科学文献出版社)



11 億元の宝くじ収益金はシルバー産業に利用される

民政部によると、宝くじ収益金約 75 億元のうち、11 億元の宝くじ収益金はシルバー産業に応用され、主に約 50 都市の在宅養老や在宅介護サービスの改善・向上に利用される。

つぶやき:ブルーブックの発行は、学术界、産業界、行政界の集大成となり、養老産業の中国における重要性を表している。政府は、宝くじの収益金を養老産業に利用することは、各方面からこの業界をサポートする姿勢を示している。

以上

編集:

日本語校閲:

お問い合わせ先:

■ 嚴 偉 (CDI 上海オフィス)

□ Email: yan@cdi-china.com

Mobile: +86-183-2198-1922

■ 崔 浩 (CDI 上海オフィス)

□ Email: hao.cui@cdi-china.com

Mobile: +86-188-1736-2183

コーポレートディレクション 上海オフィス

コーポレートディレクション(CDI)は、1986年に米系コンサルティングファームBCGから10名が独立して設立した、日本初の独立系戦略コンサルティングファーム。2008年上海オフィス設立を皮切りに、現在ではアジア5箇所に現地拠点を有する。

上海オフィスでは、主に日本企業の中国参入戦略立案、戦略再構築、及び実行に伴う組織業務改革、中国企業との提携支援等を提供。一方で、中国企業をクライアントとした日系企業との提携支援も行っている。